

3月定例議会 産業振興条例 制定 学校耐震 7年計画 実現へ

市長・市議会議員選挙の折り返し点となる09年3月定例市議会が、3月4日から27日まで開催されました。総額で一般会計1099億円の予算が組まれ、「産業振興条例」制定や学校耐震化の予算など前進面とともに、国民健康保険値上げなどがきめられました。市長の西松献金疑惑を追及しました。党議員団がとりあげた要望や成果、改善をもとめた点を紹介します。

中小企業の役割を市民生活に欠かせないものとして位置づけた府下で二番目の「吹田市産業振興条例」が成立しました。3月に開かれた党市議団主催「吹田の地域経済と産業振興条例を考えるシンポジウム」には70人が参加しました。



©大阪民主新報

市民の願い前進
日本共産党

そり邦雄議員の代表質問 代表質問の要旨

今「経済、雇用危機」のもとで
市民生活を守り、
地域経済の活性化を図る
施策の充実を図ること

- 職を失った全ての人に住居、生活、再就職の支援と、住所不定でも生活保護の受付をして緊急事態に備えた対応を
- 中小企業の実態把握と雇用の確保についての市独自施策・官公需の発注を増やす
- 「ふるさと雇用再生対策交付金」「緊急雇用創出事業交付金」の活用を

公的責任を果たす事は
自治体の基本的な仕事

- 「福祉、子育て環境、公共料金の安さ」という「福祉の街吹田」、すなわち「公的責任の充実」が評価されていた、行政サービス調査ランキング近畿で1位から全国1位をめざすは嘘だったのか
- 憲法の基本的生存権、幸福追及権をどう考えているのか、行政サービスはこれらの人間の尊厳が実るように、安心安全の生活が出来るようにするのか基本ではないか、どう考えるか

個人質問

玉井みき子議員

- 職業紹介事業の強化と緊急に職を求める人の対策を。
- 不妊治療の助成や新婚家庭の家賃補助について市として独自の施策を。●歴史文化まちづくりセンター隣接地の購入については、地域の活性化につながるような活用を。●吹田操車場跡地の遺跡は、開発優先ではなく吹田市の文化財保護条例にもとづいて現地で保存を。



村口はじめ議員

- 市内に残る28000軒の鉛製水道管と引き換えを求めてきたのに対し今年度、岸部南1～3丁目、幸町、川園町、南正雀1～2、4～5丁目で工事へ。1500軒で解消し、他の500軒とあわせて2000軒で解消をめざすことになりました。



こんな時だからこそ、
暮らし応援の福祉施策の充実を

- 介護給付準備金の全額取り崩して介護保険料の基準額の引き下げを
- 要介護認定の変更により生活実態と比べて低い判定が出た場合、どう対応するのか
- 国保料金は負担の限界だ。あと6650万円の繰り入れ増で値上げを抑えるべき
- 昨年3月議会で、「吹田で重度障害者が安心して暮らすことのできる『拠点施設』を求める請願」が全会派一致で採択されたが、拠点施設の見通しあうなっているか
- 保育所について不況と雇用不安が深刻化し、保育需要が高まっている。本年度の入所状況はどうなっているか、待機児対策は
- 生活保護の実態は全国で生活保護を受けている世帯数が、過去最多になった事が明らかになつた。本市の状況と今の社会状況に見合った受付の対応を

上記以外に市民会館の建て替え問題、国際児童文学館の存続要求、市民病院の東部拠点移転、市制70周年事業予算について取り上げました。

倉沢さとし議員

- 千里山駅周辺整備は住民合意で。(答弁。建替えによる二度転居に配慮する。駅をまたぐバイパス道路は地元住民への情報提供をはかる。駅前コミュニティー施設は検討する)●山一小学校耐震化で南校舎建替えを評価する。あわせて施設設備の修繕もするよう要望。



市民の願いとどけます 日本共産党吹田市議会議員団



倉沢 さとし 議員

そり 邦雄 議員

山根 たかし 議員

村口 はじめ 議員

竹村 博之 議員

塩見 みゆき 議員

柿原 まき 議員

玉井 みき子 議員